

新潟市美術館



街のあちこちから集める
心に染み入る思い出の造形
まじめで、正直な展覧会

2026 年

1 月 24 日【土】

～ 3 月 22 日【日】

各
路
足
傍
小
芸
術

開館 40 周年記念

松田ペットの「例の看板」

新潟地震と児童版画

にいがた銭湯展

越後川口サービスエリアの手描きポスター

或る三人の画家

思い出のセメント彫刻

地下駐車場のサンシャイン壁画

ミニコミ誌『車掌』第 27 号はカルタです



松田ペット「例の看板」(2018 年設置、長岡市内・県道 170 号線沿線)

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時（観覧券の販売は午後 4 時 30 分まで） 休館日：毎週月曜日（2 月 23 日〔月・祝〕は開館） 観覧料：一般 800 円（600 円）、高校・大学生：600 円（400 円）、中学生以下：無料

* カッコ（ ）内は 20 名以上の団体料金／リピーター割引料金（本展観覧券の半券提示で本展 2 回目は団体料金に割引）／あっちも割引金（新潟市新潟美術館企画展観覧券提示で団体料金に割引、1 回 1 名・1 年間有効）

* 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方、並びに一部の介助者の方は無料（受付でご提示下さい） * 会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご覧いただけます

協力：新潟市立南万代小学校、新潟市歴史博物館みなとびあ、新潟県公衆浴場業生活衛生同業組合、新潟市公衆浴場協同組合、日本防災士会新潟県支部、車掌編集部、有限会社ナマラエンターテインメント、株式会社ネクスコ東日本エリアサポート、株式会社松田ペット

新潟市美術館 〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9 tel: 025-223-1622 fax: 025-228-3051 museum@city.niigata.lg.jp

路傍小口芸術

開館40周年記念



B 小学6年生作品（ひなこ）1964年、新潟市立南万代小学校蔵



A 松田ベットの「例の看板」の調査（2025年11月）



C 銭湯「みどり湯」タイル壁画（新潟市中央区）



D 越後川口SA《2月行事まつりだより》部分、2019年



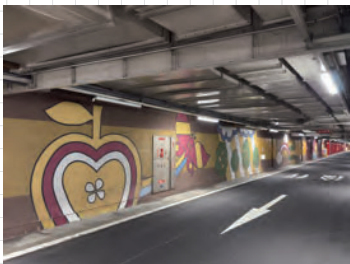
E 高橋一平《愁床暮残照》2022年、作家蔵



F 井上霞舟作品、個人蔵



F 早川亜美《みちびきの像》1967年、新潟県民会館前（新潟市中央区）



G 西堀地下駐車場（新潟市中央区）



H ミニコミ誌『車掌』第27号（車掌編集部、2025年）

関連イベント

- 講演会「路傍の小石を心に寝かせて」2026年2月1日（日）午後2時～（約90分）
気鋭の哲学者・文章家が、思想や文学の言葉を通じ、「忘れたところに思い出すこと」の豊かさを語ります。

講師：伊藤潤一郎さん（新潟県立大学国際地域学部講師）
会場：新潟市美術館（2階）講堂
聴講無料・申込不要・先着80名

1989年生、千葉県出身。著書に『誰でもよいあなたへ 投壺通信』（講談社、2023年）、『ジャン＝リュック・ナンシーと不定の二人称』（人文書院、2022年）。訳書に、ナンシー『世界の可能性』（共訳、水声社、2025年）、ナンシー『あまりに人間的なウィルスー COVID-19の哲学』（勁草書房、2021年）など。現在、集英社新書プラスにて「睡眠を哲学する」をウェブ連載中。

- 美術講座（いずれも午後2時～、約90分、当館2階講堂にて、聴講無料、申込不要、先着80名）

「美術史で歩く新潟」2026年2月15日（日）

「セメント彫刻小史」3月15日（日）

講師：藤井素彦（新潟市美術館学芸員）

〇同時開催

- コレクション展1 実りの季節に ～2026年2月23日（月・祝）

- コレクション展2 路傍風景術 2026年2月27日（金）～3月31日（火）

無名の人々の手で作り出され、多くの人々に見つめられてきた造形の数々を、街のあちこちから集めます。街と人々、ストリートの歴史と民俗に対して、ミュージアムはどこまで、誠実に・正直に・リアルになれるものか、真心をこめて試みる展覧会です。

A 松田ベットの「例の看板」

ゲストキュレーター：新稲ずな

松田ベット（1973年創業、代表取締役・松田保夫氏）の「例の看板」は、長岡市大島新町の店舗を中心とする半径10キロに多数展開、地元住民の思い出の風景として根付いています。全て看板画家の手描きにより、一枚ずつ微妙に違う「例の看板」の魅力をご覧ください。

B 新潟地震と児童版画

1964年6月16日に発生した新潟地震は、新潟市立南万代小学校に通う子供たちの通学路や生活圏にも大きな被害を与えました。6年2組の子供たちが、家屋や橋の倒壊、コンビナート火災などの惨状を描いた木版画が、今も大切に保存されています。その全46点を紹介します。

C にいがた銭湯展

ゲストキュレーター：お笑いコンビ・ジャックポット 大野まさや+春巻まさし（にいがた銭湯大使）

「銭湯」というかけがえのないコミュニティ空間の歴史と現在を、多様なアイテムで紹介。2023年12月、新潟県民会館展示スペースで開催された『にいがた銭湯展』をベースに展開します。

D 越後川口サービスエリアの手描きポスター

関越自動車道・越後川口SA（長岡市）のインフォメーションに勤務する水落裕子さんが、30年以上にわたって制作し続けてきた手描きポスター。県内各地のイベント情報を、圧倒的な情報量、驚異的な超絶技巧で伝えています。

E 或る三人の画家

教職をなげうち、独自の画境を追求、遂には足元のアスファルト路面を写生するに至った画家・飯田春行（1933～2022）。昭和の初めに東京で日本画を学び、帰郷後は文具店を営みながら、迫力ある達磨像を描いた井上霞舟（1967年没）。そして、中越の思い出の古民家を、突き刺すような描線で描く高橋一平（かずひら）さん（73）。3人の画家の自由で独自の世界を紹介します。

F 思い出のセメント彫刻

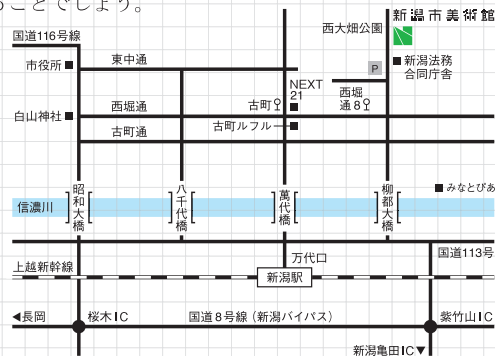
1960～70年代、新潟市内の小中学校には多数のセメント彫刻がモニュメントとして建立されました。最も異彩を放つ彫刻家・早川亜美（1912～1980）の作品を中心に、子供たちの思い出に残る像の姿を写真や映像で紹介します。

G 地下駐車場のサンシャイン壁画

西堀地下駐車場（1976年10月オープン）の壁面には、長大なペンキ画が描かれています。暗い地下空間を彩り続けた、明朗・快活な「地下大壁画」を改めて観察します。

H ミニコミ誌『車掌』第27号はカルタです

老若男女がそれぞれの暮らしのひとコマを描いた絵日記が、そのまま全部手描きのカルタになりました。特殊すぎるミニコミ誌『車掌』第27号に、多くの人は途方に暮れることでしょう。



〇交通のご案内

- バスで（新潟駅バスターミナルから）
【C6 八千代橋線・のりば1】※便数は少ないですが、美術館の最寄りバス停に停車します
乗車約16分→バス停「西堀通八番町」下車→徒歩約5分・約400m
【B1 萬代橋ライン・のりば6など】※最も便数が多いバス停です
乗車約10分→バス停「古町」下車→徒歩約12分・約860m
- タクシーで（新潟駅万代口から約10分）
- 自動車で（無料駐車場46台）※当館駐車場は混雑する場合があります
A：【高速道路】日本海東北自動車道・新潟電田ICを降り、柳都大橋経由で約20分
B：【国道8号線（新潟バイパス）】紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分

新潟市美術館

Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大堀町 5191-9

tel: 025-223-1622 fax: 025-228-3051

e-mail: museum@city.niigata.lg.jp

〇小さなお子さんがいる、障がいがあるなど、何らかの理由でご来館を迷っている方へ
車椅子やベビーカーの無料貸し出し、授乳室のご案内をしています。
そのほかにも、ご来館の際に心配ごとがあれば、ぜひお問い合わせください。
可能な範囲で対応いたします。